

防災県土整備企業常任委員会活動評価総括表（平成28年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・年間活動計画どおり活動ができた。
- ・県内外調査は、適時適切な調査が行えた。
特に、紀宝町でのタイムラインの調査は「三重県版タイムライン（仮称）」の調査の参考となった。
また、熊本地震の調査は、現場を確認することで「三重県広域受援計画（仮称）」の調査の参考となった。
- ・消防団などの重要な課題について十分に執行部に対して話をし、執行部の認識の確認ができた。
- ・東海環状自動車道などの基幹道路についても、開通前の状況や道路ネットワークの構築などの確認などができた。
- ・「新三重県建設産業活性化プラン（仮称）」について議論し、執行部も委員会の意見の反映に努めている。
- ・入札制度に関しては明瞭性に欠ける部分があり、次期委員会でも引き続き調査が必要である。
- ・RDF焼却・発電事業について総括ができていないのか疑問であり、次期委員会でも引き続き調査が必要である。
- ・インフラ整備が抑制されているが、整備しないことで将来に負の遺産を残すこともあり得るので、状況を見極めながら、老朽化対策や防災対策などに取り組んでいくべきであり、次期委員会でも引き続き調査が必要である。

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	4.1
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	4.4
	委員会で十分な議論をしましたか。	
	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。	3.8
	議員間討議を十分に行いましたか。	
	議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。	4.6
	調査先で十分な調査を実施しましたか。	
	県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	(その他、評価の理由等(自由記載))	

項目	評価の視点	平均点
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	3.6
(6)調査・審査結果の施策への反映	調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。 []	/

評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)
各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。